**田中長老導師講話会**　　2020年２月　　東京

１、「神聖」は各人の丹田（肚）の中にすでにおさまっています

　　　■昨年九月の神聖復活祭で「神聖復活目覚めの印」から、「目覚め」が取れ、「神聖復活の印」

　　　になったことは、私たちの印を組む時の意識が、それまでの**「神聖に向かうプロセス」から**

**「神聖とともにある」ことへと次元上昇した**ことを意味しているのであります。

　　　■この印を組むことによって、降りてきたエネルギーは丹田におさまり、プールされ続けてい

　　　ます。それが「光り輝く神聖」です。まずは、この神聖を〝どう感じ″〝どう表現″してゆけるか、それが課題となります。

■世界平和の祈りの原点は、「私たちの内なる神聖をいかに広げてゆくか」でした。そして、

「他の人々の内に神聖を見る」…これも自分の中にある「神聖」をどれだけキャッチしたかに

かかっています。

■この「神聖」はこれから頂くのではなく、もうすでに自分の中にあるのです。それが分かる

と、**いかなるものが現れようとも〝怖くない″**。必ず乗り越えられるのです。

■丹田におさまった「神聖」は「宇宙神の通り門」であり、五井先生、守護霊様、守護神様が

いらっしゃいますので、それらとの一体化により、他人に依存せずとも、困難を解決すること

　が出来ます。この丹田におさまった「神聖」こそが人生の荒波に漕ぎ出していくにあたり、自分の内なる「神聖の羅針盤」となり、荒波を乗り切ってゆくことを可能にするのです。

２、呼吸法による統一の実践と指導

　　　■（呼吸法は）体で感じることが大切です。頭だけの理解では、ちょっとした恐怖感が来ただ

　　　けで吹き飛んでしまうのです。

　　　■呼吸法を深くするためには、次のようにするとよい。

　　　　　　**①**息を吸う時は、**「我即神也」と心の中でまず三回唱え**、三回目で「な～り」と言葉を伸ばして息を吸いきる。この時、丹田に力を入れて、ギュウッとおへそと背中を引き付けるようにして息を吸いこみます

　吸う時には、ヒューッとまるで一つのすごいエネルギーによって吸い込まれるように、空気の中のコア、宇宙神の大生命力がまとまって入ってくるのです。そして自分の中に蓄積されていた汚いもの、毒素がパーッと出ます。

　　　　　　**②**次に息を止め、**「すべては完璧　欠けたるものなし　大成就」**と心の中で唱える。

**③**息を吐く時には**「人類即神也」を三回唱え**ますが、三回目は「な～り」と吐き切ります。

　　　■臍下丹田（へそから握りこぶし一つ分くらい下）が私たちの体のコア（核）です。

ここが**宇宙神への通り門**であり、守護霊様、守護神様、五井先生がいらっしゃいます。

■「肚」が出来ている人は絶対に吹き飛ばされることがありません。私たちも「肚」を鍛えましょう。では「肚」を鍛えるとはどういうことなのか……それは呼吸法を通して、**ここ（肚）に光輝く「神聖」があると実感できるようになること**です。

　　「神聖」とは究極的には歪みの取れた完璧なる円光なのです。この「肚」が出来てくると、どんなことがあろうとも、それを乗り切れるだけの知恵と直観力が湧いてきます。

　■この呼吸法を行う時は、**肩の力を抜いて**ゆくと、意識が自然に臍下丹田に降りてゆきやすくなります。

　■臍下丹田に手ごたえを感じるようになると、ものすごい癒しの力を感じることが出来、体が楽になってきます。そして「勇気」が湧き、人に頼ることなく、自分の神聖が羅針盤になって、例えば、誰に合えばいいとか、どこへ行けばいいかなど、「直観」により最適の答えが出るとか、他人の言うことや噂が果たして真実なのか偽りなのか、について正しい判断が出来、人生の荒波を乗り切ってゆくことが出来ます。

　■自分の中に、「神聖」が感じられると、それが他の人の中にもあるのが感じられ、さらに「大地も山も動植物も含む地球上の生きとし生けるものすべてが神聖に輝く」のが感じられると同時に「世界人類のすべてに〝神聖″が宿っているである」と伝えられるようになります。

　■自分が神だということを伝統的に認めにくい一神教の宗教の人々にも、そして神そのものを

認めない人々にも、文句なく自然に受け入れられるのがこの「神聖」という概念である。それは、誰の内部にも「神聖」の輝きがあることがめいめい自分自身で確かめられるからでしょう。

■私たちは、健康になり、生き生きとして愛と喜びと感謝に満ちた光輝く自分であることを、丹田に降りる「神聖」なるエネルギーとともに、毎日の祈りと印と生活を通して確認してゆけます。

　■私たちが地球上に降りてきた時、守護霊様守護神様が私たちの神聖を産土神（うぶすながみ）様にお預けになったのですね。地球大霊王様を代表して、私たちの「神聖」を最初に受け取ってくださったのは、生まれた土地の産土神様だったのです。そして多くの神々様により、地球上の要素を使い、形成して下さった肉体に、その「神聖」が宿っているのであります。

　**の気持ちを込めて、「神聖さん」と呼んではいかがでしょうか……**。

３、直観力は誰しにも備わっている能力

　　　■白光誌2020年2月号、「日々の指針」の一番目に「直観力は誰しにも備わっている能力……

　　　引き出すためにはコツが必要」とありますが、ここ「直観力」を「神聖」と置き換えると、誰にも備わっている能力ということの意味がよくわかります。**神性が開かれると、それは第一に直観力として目覚めてくる**からであります。

　■それに続いて、**「直観そのものは深層の記憶に織り込まれており、記憶に何回も探りを入れて、それを引き出すのがコツ…」**とありますが、その「記憶に何回も探りを入れて」とは、印を組んでいる最中に湧いてくる過去の記憶（雑念を含む）が出てくるままに任せておくことを指します。それが深層の奥からの直観力がひらめくことにも繋がるのです。

　■「直観力（神聖）は暗闇の中に光を見つけようとする努力の積み重ねにより引き出され…」

　とあるように、何度も何度も丁寧に行う必要があります。

この努力を支えるのが「**忍耐力。それに勝るものはない**」（同『日々の指針』下段の二番目）のであります。印を組んでいる最中に記憶がよみがえるたびに、守護の神霊が**これらの記憶を光に変容**して下さっているのを忘れてはなりません。

　　但し「直観力を引き出す」のは「神聖」そのものです。守護霊様、守護神様が引き出すというものもあるが、**「神聖」（直観力を含む）を引き出すのは私たちの神聖そのものであります。**

　（※　このことは、次の4番目の項目に挙げます、昌美先生のご法話にも示されています。）

４、自分の中の「神聖」を引き出すのは自分自身

■白光誌二月号新年祝賀祭でのご法話『自分の中の神聖を引き出す』のｐ.9の〝神聖の意味を

知る″（※特に、P.9の終わりから6行目よりP.10の3行目が重要）

　　　　※**「‥‥神聖復活のプロセスは、最初は自分の為に祈りつづけ、印を組みつづけます。次にその継続から、自分の神聖で自分自身が浄まる段階に進んでゆくのです！自分の中の神聖を引き出すのは、神でも祈りでも五井先生でも私**（昌美先生）**でもなく、皆様自信なのです！」**

さらに、『神聖の羅針盤』P.５の終わりから6行目からP.5の終わりまでを精読のこと。

　　　　※**「‥‥皆様は、自他の神性を信じて、祈りつづけ、印を組みつづけ、自らの内なる神性を引き出された尊い方々なのであります。」**

これらのお言葉の意味をかみしめて、自らが臍下丹田に意識を降し、そこにプールされたエ

ネルギーである「神聖」そのものを感じ取っていくことが重要であります。

■「神聖」を蘇らせるためには

　　　　①　**白光誌を何回も読んでください**。学校の勉強は、知識を覚えて終わりですが、こちらは「神聖」をよみがえらせ、さらに大きく大きくしてゆくために読むのですから、一度読んで〝アタマでわかったから終わり″と思うのではなく、繰り返し読んでください。

　　　　　　　そして、自分の神聖にピッタリ合った言葉に出会い、〝ああそうだったんだ″、

　　　　　　ここだと思う所に印をを付けた時に、それによって神聖がよみがえらされるので、そのためにしっかりと白光誌を読んでください。白光誌の中でも、最も神聖を引き出してくださるのが、「日々の指針」と「神聖の羅針盤」（神界の最新情報）です。

　　　　　　　読むのは、声に出して〝音読″することが大事です。日常生活において、最初からスマホにアクセスするのではなく、「神聖」（いつでもどこでも通用する〝羅針盤″）

　　　　　　にアクセスしてください。

　　　　②　そして、もう一つのコツは**印を組むこと**です。

５、新型コロナウィルスへの理解と印の実践

**この世に存在するもの、この世の現れのすべての背後に神のご意志があります。**

■新型コロナウィルスさんも例外ではありません。**新型コロナウィルスさんの「天命」が完う**

**され、その「神聖」が完全に顕れた時にはこの世から消えてゆき、現在の事態は終息します。**

■私たちの行うべきことは、「原発さんありがとう」という「原発への感謝の祈り」と基本的に

は同じです。神のご意志に感謝し、新型コロナウィルスの天命の完うをお祈りする心で、次の

言霊を宣言し、「神聖復活の印」を組みましょう。

**宣言：**　**１、新型コロナウィルスを司る神々様ありがとうございます**

　　　　　　**２、新型コロナウィルスさん即神也**

（人々の恐れや憎しみなどのマイナス感情に同調せぬよう、「さん」付けで心を込めて行う）

この印を組む時は、丹田に意識を降し、この丹田において、**〝自分の神聖″と〝新型コロナウィルスの神聖″が交流することをイメージ**して行います。

■印の実践に当たり、理解しておくべき基本的な認識

　　◎　一回一回心を込めて丁寧に組んでください（昌美先生）

　　◎集中力が増すほど、宇宙神からの光をしっかりとキャッチしやすくなり、深く長い呼吸

　　　とともに行うほど、宇宙神の光が多く入ってきます。

　　◎愛する誰かのために、特に祈りを必要とする国のために、真剣に組む時、私たちの集中

力は増します。

　　　　　◎「一回一回の集中力×回数＝印のエネルギー」でしたが、このエネルギーが「神聖」と

して実感されてくると、「**大安心**」につながります。

　　　　　◎世界中のすべての人から背を向けられようとも、五井先生、昌美先生は私たちを見棄て

ることはありません。そして、その五井先生、昌美先生の無条件の愛と赦しが、ご自分の内なる「神聖」の中にあることが、印を組み続けてゆけば感じられるようになります。

　　　　　◎丹田に光輝く円光が感じられ、その円光が、歪みのとれた純円となり、どんどん大きくなるのが、概念ではなくて実際に存在しているのだと実感出来るようになったら、大安心になります。

最後に）

　　　これから新型コロナウィルスの感染のピークに向かってゆく時に、**世の人々の恐れを和らげる**

ことを私たちは意識してやってゆく必要があります。決して恐れないように。新型コロナウィルスさんは人類に対し、たくさんのメッセージを発信してくれていますから、これを心して受け止めてゆくことが大切です

以上

付記）　　今回の講話会で、問題を抱えている様々な国や、新型コロナウィルスにかかった人々に対して、「神聖復活の印」が組まれましたが、印を組む時の心の中で唱える言霊は、前回（2019年12月17日）に東京で開催された田中長老導師の講話会で提唱された言霊の唱え方を継承されたものと思われますので、ここでご参考として、その行い方を再度、掲載いたします。

　【各国を祈るとき】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 　　　　印の動作 | 呼吸 | 　　　　心の中で唱える言霊 |
| 　１ | 如来印のまま息を吸う | 吸う | 我即神也 |
| 　２ | 如来印のまま息を吐く | 吐く | 世界人類皆即神也 |
| 　３ | 両手を斜め前に上げる | 吸う | 我即神也 |
| 　４ | 両手で光輪を作る | 吐く | 　　　　**○○人皆即神也**（○○は国名） |
| 　５ | 両手で神聖を受け取る | 吸う | 我即神也 |
| 　６ | 丹田の前で球体を作る | 吐く | 　　　　**○○人皆即神也** |
| 　７ | 球体から胸の前で五本指の合掌 | 吸う | 我即神也 |
| 　８ | 両腕を真っ直ぐ前に伸ばす | 吐く | 　　　　**○○人皆即神也** |
| 　９ | 両腕を左右に水平に開く | 吸う | 我即神也 |
| 　10 | 開いた両腕を元に戻す | 吐く | 世界人類皆即神也 |
| 　11 | 両腕を降ろして如来印に戻す | 吸う | 我即神也 |
| 　12 | 如来印のまま息を吐ききる | 吐く | すべては完璧　欠けたるものなし　大成就 |

※個人を祈るときは、○○人皆即神也のところを**○○様即神也**（○○は人名）、新型コロナウィルスを祈るときは**新型コロナウィルスさん即神也**、として唱えられてもよいかと思います。

※また、印の最後で「すべては完璧　欠けたるものなし　大成就」を最後の吐く息の一息で唱えるのに多少無理を感じられる方は、以下のバリュエーションを採用されても良いかと思われます。

　（各自、ご自由に創意工夫をなさって下さい）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　８ |  |  | 　　　　 |
| 　９ | 両腕を左右に水平に開く | 吸う | **すべては** |
| 10 | 開いた両腕を元に戻す | 吐く | **完璧** |
| 11 | 両腕を降ろして如来印に戻す | 吸う | **欠けたるものなし** |
| 12 | 如来印のまま息を吐ききる | 吐く | **大成就** |

あるいは次のヴァリュエーションも考えられます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　８ |  |  | 　　　　 |
| 　９ | 両腕を左右に水平に開く | 吸う | 　我即神也 |
| 　10 | 開いた両腕を元に戻す | 吐く | 　**すべては完璧** |
| 　11 | 両腕を降ろして如来印に戻す | 吸う | 　**欠けたるものなし** |
| 　12 | 如来印のまま息を吐ききる | 吐く | 　**大成就** |

以上